

- ★日高の軽種馬育成調教場は、昨年、屋内直線馬場と屋内坂路馬場のウッドチップの入替え・補充、屋内坂路馬場の監視カメラの更新、屋内直線馬場の屋根防水改修等を実施し、馬場の安全性確保のため万全を尽くしております。また、調教場利用馬のメイショウマンボ号（オークス・秋華賞・エリザベス女王杯）とゴールドシップ号（宝塚記念）がGIレースを勝つなど、活躍馬が目立ちました。今後とも調教場のご利用のほど、よろしくお願いいたします。
- ★当センター育成調教技術者養成研修生は、昨年秋のJRA育成馬での馴致実習を通して、育成馬の繊細さと取扱いの難しさを痛感し、今月からは最終段階である育成馬での騎乗訓練へ進んでおり、4月の研修終了までまだまだ息が抜けないと言ったところです。また、就職活動も始まり、求人側・求職側双方の希望が叶い、人材不足の育成業界に少しでもお役に立てれば幸いです。【Y. H.】
- ★昨年10月、競馬ファンの期待を一心に集めた凱旋門賞、“今年こそは”の夢は再び持ちこしとなりましたが、オルフェーヴル号の2年連続2着（過去に例がないとか）は称賛すべき素晴らしい成績でした。4着のキズナ号も然り（常歩で歩く道ですら、砂が細かく蹄が埋まり、前進するにも凄く力のいる過酷な環境に打ち勝つての出走）。そして、“今度はこちらの番でしょ!!”と声をあげる若きホースマンがいるかぎり、近未来、「重い扉」は必ず開かれるでしょう。
- ★私どものBTC事務局が間借りしている東京競馬場では、昨年は第80回ダービーおよび開設80周年を記念して、お客様への感謝を込めた様々な企画が催されました。今回の「たづな」では増田知之場長に、大いに盛り上がった第80回記念日本ダービーと競馬の原点について、一筆書いてもらいました。今年も秋には第150回天皇賞を控え、一味違った特別な企画が期待されます。
- ★武豊騎手のGI100勝達成、まさに前人未到、そして不滅の大記録、本当におめでとうございます。未熟な騎手候補生時代、強い馬づくりのプロジェクト研究の一環として、JRA総研の研究馬（セリ前）に乗せて、調教、追切り、試験走と実践的な騎乗訓練をしてもらいました。この大偉業のほんの一助になったのかも（当時私は研究馬の調教師でした）。【Y. F.】

## BTC ニュース 2014年 第94号

発行日：平成26年1月1日

発行：公益財団法人 軽種馬育成調教センター 〒183-0024 東京都府中市日吉町1-1 東京競馬場内  
TEL 042 (358) 1173(代) FAX 042 (358) 1174 ●ホームページ <http://www.b-t-c.or.jp>

編集責任者：杉本 修 編集：藤井 良和

制作・印刷：西谷印刷株式会社

〒135-0022 東京都江東区三好2-1-4 TEL 03 (3630) 2007